

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	安全で快適なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成26年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>昨年夏の豪雨では、町の至る所で被害が発生し、災害に強いまちづくりの必要性が高まっており、防災ネットワークの強化、災害時の避難場所となる公共施設の設備充実や災害用備品の整備が求められているほか、防災計画を見直し、より安心・安全なまちづくりを進める必要がある。</p> <p>また、本町の豊かな自然や生業の景観、人の営みにより作られた独特の環境は、専門家等に貴重な資産との評価を受けており、そういった環境を維持する必要性が一層高まっていることから、自然と共生できる快適なまちづくりを推進する必要がある。</p> <p>さらに、京都府景観資産登録第一号に認定された「茶畑景観」や豊かな景観を保護するため、町自ら率先してゴミの焼却処理やゴミの減量化、不法投棄防止対策に取り組み、住民の環境保全意識に対する意識向上を図る必要がある。</p> <p>以上のことから、災害、環境の課題に取り組むことにより、誰もが安心して住むことができる、安全かつ快適なまちづくりを進める。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・近年増加している豪雨災害等から住民の暮らしを守るため、防災計画を見直すほか、防災システムの強化、非常時に備えて必要な資機材、食料を備蓄する。 ・豊かな自然と住環境を守るため、広域林道の除草、不法投棄防止やゴミ減量化などの環境美化活動を促進する。 ・児童が安心・快適に校舎を使用できるよう小学校の上下水道を整備する。 ・地域で管理されている共同墓地の環境を地域住民自ら整備する。 							
	総事業費（千円）	17,552	本年度事業費（千円）	17,552	交付金額（千円）	8,014		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	広域林道美化事業	交付対象事業	広域林道のごみ不法投棄防止と各林道の除草作業			不法投棄防止看板による啓発を図るとともに、落葉・土砂の撤去、倒木処理、木や枝の伐採により通行の安全性を確保した。 箇所数：林道2線		
	災害時物資備蓄強化事業	交付対象事業	非常時に備えて食料、生活必需品及び災害応急対策に必要な資機材を備蓄			地域防災計画に基づく、災害時の迅速な対応・強化を図り、安心安全なまちづくりが図られた。 ・食料1736食・発電機15台・ブルーシート250枚・毛布530枚・土のう1000袋・水防杭30本・カセットボンベ258本		
	京都デジタル疎水ネットワーク更新事業	交付対象事業	光回線による防災システムの強化			さまざまな手続きの迅速な窓口対応を提供し、その後の事務処理について、コンピューターシステムを活用し、正確で高速に行うことができた。		
	防災行政無線保守事業	交付対象事業	町内全域に設置されている防災行政無線の保守点検			正確な災害情報を地域住民へ迅速に伝達することにより、安全安心な暮らしを確保した。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：和東町

住民協働事業	不法投棄防止事業	交付対象事業	不法投棄を未然に防止するためパトロールの実施、清掃作業		産業廃棄物不法投棄等の不適正処理を未然に防止するため、週4～5回のパトロール及び清掃活動を実施し、快適な環境を創出した。
	地域防災計画見直し事業	交付対象事業	和東町地域防災計画の見直し		住民の安全・安心を確保し、総合的かつ計画的な防災行政の整備を図り、災害に対して実効性のある適切な対応がとれるようにした。
住民が取り組む事業	ごみ減量化推進事業	交付対象事業	一般廃棄物の内、リサイクル可能な資源ゴミ(古紙、古布等)に対して補助		各自治会、老人クラブ等の協力により資源ごみをリサイクルした。 回収量：175,993kg
	墓地整備事業	交付対象事業	共同埋葬墓地の環境整備		町内3地区の墓地の参道を整備し、手すりを設置することにより、誰もが安全に墓参りができるようにした。
成果指標①	成果指標の目標数値	食糧・資機材備蓄 必要数（総人口の10%）に対してH26年度中に100%備蓄	成果指標の実績値 (27年3月31日時点)	100%備蓄	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	地域防災計画に基づく災害時の迅速な対応・強化を図り、災害発生時に必要となる食糧・資機材の備蓄により、安心安全なまちづくりが図られた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)		
	成果指標の達成状況		(左の理由)		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：和東町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>再利用できる物をごみとして捨てられる前に地域で回収し、ごみの減量化と資源としての有効利用の促進につながった。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量化に住民全体で取り組むことにより、環境美化・保全への意識を高めることができた。 ・運動公園美化事業が行われたことにより、公園の美化意識の向上につながった。 ・防災行政無線での迅速な災害情報の伝達により、住民の災害に対する自主防衛の意識を高めることができた。
	<p>リーディング・モデル成果</p>	
	<p>広域的波及成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミを回収し循環型社会の形成に向けて取り組むことで、ゴミ処理施設の運転に係る負担の軽減につながるとともに、環境保全意識を高めることができた。
	<p>行財政改革に資する成果</p>	
	<p>その他の成果</p>	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。